みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.25
平成24年1月25日号
発行・岩手県西和賀町議会

■主な内容

・**12月定例会**（12月14～19日）
温泉施設の料金値上げ!?……2P
・**そのほか**
住民の声回答ほか……12P～
高根沢町・大子町研修……14P～
あの課題の行方（空き校舎の利活用）…19P

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.11

湯田クールス

雪合戦・雪上の格闘技!!

第12回西和賀町長杯小学生雪合戦大会は1月8日旧川尻小学校グラウンド特設コートで行われました。

町内からは3チームが出場したほか、県内、宮城県から全15チームが参加しました。優勝は湯田小学生で構成された湯田クールスで、圧倒的な強さで大会を制しました。（関連20ページ）

12月定例会は、12月14～19日まで沢内庁舎議場で行いました。各温泉施設の入浴料の改訂など43案件を審議しました。

収支均衡のため 温泉施設料金値上げ!!

利用者が増加している丑の湯

ことし4月から、町内の温泉施設（バーデンとオアシス館を除く）で入浴料が値上げされます。値上げ幅は最大で約3割です。町は、料金の改訂にあたり関係地区の役員などとも協議し今回の提案となりました。

問　料金改定することでどれくらいの収入増になるのか。

答　平成22年度の入浴料は2949万円で、単純計算で約600万円の増と思われる。

問　値上げの理由に、施設の収支均衡を図るためと説明があったが、600万円で収支均衡がはかれるのか。むしろ値上げは、観光地としてのイメージダウンになるのではないか。

答　施設の利用者数は、丑の湯を除き、全体で落ち込んでいる。苦情として多いのが「シャンプーや石けんも置いていない」という内容だ。今回から全施設にこれらを置くため、サービス向上と利用増を見込んでいる。

問　600万円の収入増は、指定管理料にどのように反映されるのか。

答　指定管理料の積算は、物価変動なども考慮するが、シャンプーや石けんの購入代金分は増える。具体的には、今後指定管理者と個別に協定を結んでいきたい。

【表】町内温泉施設の入浴料（バーデン、オアシス館除く）

現在の料金			
区分	小中学生	一般	老人
1回券	100円	250円	150円
11回券	1000円	2500円	1500円
1か月券	1500円	3000円	1700円

→

新料金（4月1日から）			
区分	小中学生	一般	老人
1回券	120円	300円	180円
11回券	1200円	3000円	1800円
1か月券	据え置き	3600円	2200円

※老人とは、町内に住所を有する65歳以上の方です。
※就学前の幼児は、無料です。

町長行政報告

キャッチフレーズ どこにも無い四季と湯の里ほか

●観光キャッチフレーズを決定

4～6月まで行われるデスティネーションキャンペーンにあわせ、町の魅力をひと言で表現する標語・キャッチフレーズ作成を進めてきた。町内各種団体から選出された委員により検討した結果「どこにも無い四季と湯の里」と決定した。

冬も春も何となくあったたかな西和賀のイメージ「自分だけの四季、雰囲気」といった意味が込められている。

今後は、町のホームページやパンフレット、看板、イベントなどで発信していきたい。

●キッズルームにしわが受け入れ開始

病児保育の受託先を公募したところ、医療法人協和会（さわうち協立診療所）から応募があり、11月1日付けで同会と委託契約を締結した。

医療法人協和会では、新町地区の旧登記所2階を改修し、キッズルームにしわがとして受け入れを開始している。

平成23年12月8日現在で、1歳児2人、5歳児1人、小学1年生1人、3年生1人を受け入れ、7日間の利用があった。

町としても働きながら子育てできる環境に今後も努めていきたい。

●菅原文太さんから心にしみるメッセージ

11月30日東京都で行われた全国町村長大会に出席した。

来賓の野田総理大臣からは地方主権の推進、被災地の復興に向けた取り組み決意などの表明があった。

また、宮城県出身で、俳優の菅原文太さんも駆けつけてくれた。文太さんは『このようなときの大会は、全国の町村長が長靴をはき、福島、宮城、岩手のどこかに集まり開催してくれたら、どれだけ被災者の激励になったことでしょうか。どうして東京なんですか』と考えさせられ、心にしみるメッセージがあった。

大会では、地方分権の推進やTPP（環太平洋経済連携協定）への不参加など9項目を決議しました。

（冬バージョン）

町の花であるカタクリをイメージしたマスコット
キャラクターカタクリンコちゃん
（元気な西和賀どっとこむキャラクター）

第5回　12月定例会会期日程

（12月14日～19日）

月　日	内　容	関連ページ
14日（水）	諸報告	3
	一般質問 ・髙橋昭貴議員 ・中村キミイ議員 ・刈田敏議員 ・湯澤正議員	6～11
15日（木）	一般質問 ・児玉正彦議員 ・淀川豊議員	
	議案審議 条例５件 そのほか１件	4～5
16日（金）	議案審議 条例11件 補正予算７件	
19日（月）	議案審議 そのほか16件 同意１件 請願・陳情２件	

※17日～18日は休会しました。。
※議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。

・デスティネーションキャンペーンとは

JR6社と地域観光関係者、地方自治体が協力して一つの地域（今年が岩手県です）を観光宣伝し、観光客を集中させるという国内最大級の観光キャンペーンです。

岩手県単独としては「詩情豊かな岩手路へ」から実に32年ぶりの開催になります。

・病児保育とは

昨年から新たに始まった事業で、病気のため集団保育や家庭での保育が困難な児童を、専用の施設で一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する事業です。

この事業に必要な経費は町が補助しています。補助金の負担割合は、県が3分の2、町が3分の1です。

※行政報告とは、町の大きな話題を議会に報告することです。

12月定例会

このように決まりました

審議した内容

16施設の指定管理者を決定　ほか

予算を補正

表1のとおり平成23年度予算を補正し、すべて原案のとおり、全員賛成で可決しました。

新条例を制定

●15歳以上の町民には住民投票権を（外国人含む）

全員賛成 ▼可決

西和賀町住民投票条例を新たに制定しました。住民票のある満15歳以上の町民（外国人含む）が投票できることなどを定めました。

●まちづくり検証委員会で進み具合を検証します

全員賛成 ▼可決

まちづくり検証委員会条例を新たに制定しました。住民投票条例と同様に、町まちづくり基本条例で定められている検証委員会の組織や必要事項を定めました。委員は10人以内で、任期は2年以内です。

条例を改正

●温泉施設の一部を指定管理可能にしました

・ゆう星館施設条例

・長峰公園条例

賛8・反3 ▼可決

・真昼温泉条例

賛10・反1 ▼可決

・丑の湯条例

賛10・反1 ▼可決

・ほっとゆだ・穴ゆっこ・砂ゆっこ条例

賛10・反1 ▼可決

全員賛成 ▼可決

ゆう星館と長峰公園、真昼温泉を、指定管理者による管理ができるように全部改正しました。

また、それぞれの施設の入浴料金も他の温泉施設同様に値上げしました。→関連2P

●温泉施設の料金値上げは4月1日から

・老人憩いの家条例

賛10・反1 ▼可決

・ゆう林館条例

賛10・反1 ▼可決

各温泉施設条例の一部を改正しました。老人憩いの家、ゆう林館、丑の湯、ほっとゆだ、穴ゆっこ、砂ゆっこの管理経費の収支均衡を図るため入浴料金を値上げし、利用者の利便性を向上させるため広間などの使用料と特別使用料を廃止しました。→表2・関連2P

補足：ほっとゆだ、砂ゆっこ、穴ゆっこは利用料金制なので、入浴料金の最低金額を定めたものです。

●オアシス館で休館日を設定し開館時間を変更

全員賛成 ▼可決

西和賀町峠山パークランド条例の一部を次のとおり改正しました。

今年の4月から毎月第2火曜日を休館日とします。開館時間を実態に合わせて、現在の午前8時～午後9時までを、①4～11月までは午前9時～午後9時まで、②12～3月までは午前10時～午後7時までとしました。

●レストハウスゆのさわの開館時間を変更

全員賛成 ▼可決

レストハウス条例の一部を次のとおり改正しました。

レストハウスの開館時間を実態に合わせて、現在の午前7時～午後9時までを午前9時～午後7時としました。湯田スキー場の開設期間中は、午前8時30分～午後7時まで。

●一般職員の給与などを引き下げました

全員賛成 ▼可決

一般職の給与条例の一部を次のとおり改正しました。

9月30日の人事院勧告にあわせて、医師を除く全職員の給与を引き下げました。

【表1】　今定例会での平成23年度予算補正

項　目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	67億8554万円	1億2571万円	69億1125万円	沢内病院整備基金1億円、沢内病院への繰り出し7160万円ほか
国保会計	9億1153万円	1753万円	9億2906万円	平成22年度療養給付費など確定に伴う国庫支出金過年度返還金2760万円ほか
介護保険会計	10億1159万円	△0.6万円	10億1159万円	居宅介護サービス給付費△500万円、居宅介護福祉用具購入費20万円ほか
簡易水道会計	4億587万円	343万円	4億930万円	盛岡横手線改良工事にともなう配管移設工事設計料463万円ほか
下水道会計	3億9252万円	297万円	3億9550万円	汚泥の放射線測定委託6万円ほか
温泉会計	9943万円	90万円	1億34万円	真昼温泉ボイラー燃料費48万円ほか
沢内病院（収益的収支）	6億7722万円	△2300万円	6億5422万円	患者減少による収入減△8000万円ほか
沢内病院（資本収支）	5546万円	1460万円	7006万円	病院建設基本設計委託料1460万円

※表中の金額は、1万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

●まちづくり基本条例検証委員の報酬6500円

全員賛成 ▼ 可決

特別職の給与条例の一部を次のとおり改正しました。

まちづくり検証委員会の日額報酬を委員長7000円、委員6500円と定めました。

●災害の場合に町民税を減免します

全員賛成 ▼ 可決

町税条例の一部を次のとおり改正しました。

町長は各種の条件に合致する場合に町民税を減免できますが、その条件に震災・風水害・火災などで配偶者や親族の財産に被害を受けた場合を加えました。

●災害弔慰金の支給範囲を拡大します

全員賛成 ▼ 可決

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正にあわせて、町の関連条例の一部を次のとおり改正しました。

災害弔慰金の支給対象に、遺族と同居している、または同一生計だった兄弟姉妹を含め、支給範囲を拡大しました。

●旧湯田の簡易水道を統合します

全員賛成 ▼ 可決

簡易水道事業給水条例の一部を次のとおり改正しました。

平成24年度以降の国庫補助金による施設整備事業を行うため、現在の湯本簡水、川尻簡水、耳取簡水、湯川簡水、左草下前簡水の5簡易水道を統合し湯田簡易水道としました。

そのほかの議案

●NPOに越中畑小を無償で貸し付けします

全員賛成 ▼ 可決

除斥：早川久衛議員

空き校舎となった越中畑小をNPO法人新田郷コミュニティー雪つばきの里（早川久衛理事長・中村）に無償で貸し付けることにしました。貸し付け期間は、平成24年1月1日～平成33年12月31日までの10年間。同NPO法人では、同校を改修し小規模多機能ホーム、有料老人ホームとして活用する予定です。↓関連19P

●16施設の管理者を指定しました

町内の温泉施設など16施設の指定管理者を指定しました。↓表3

温泉プールは賛成10・反対1、これ以外の施設は原案どおり全員賛成で可決しました。

（丑の湯の指定管理者の指定議案のみ除斥：柳沢安雄議員）

議会として同意

●平藤教育委員の再任に同意しました

全員賛成 ▼ 同意

現在教育委員1期目の平藤壽子（ひさこ）さんの任期が平成23年12月31日で満了となることから、あらためて教育委員として任命することに同意しました。任期は4年間です。

平藤　壽子（ひさこ）さん

（再任・左草・61歳）

みなさんの願い

●陳情：町道（中村～下左草間）の拡幅改良を

全員賛成 ▼ 継続

【内容】本路線は幅員が狭く、スクールバスや患者輸送車の交差にも苦労します。

拡幅工事を早期に行なってほしいとの陳情です。

【提出者】中島達郎さん（地域を考える会代表・小繋沢）ほか383人

【継続の理由】現地調査なども実施して判断する必要があるため。

●請願：緊急時の医療・防災体制の確保を

全員賛成 ▼ 継続

【内容】西和賀消防署を移転する際の建設場所は猿橋地区とし、沢内小学校の向かい苗圃（びょうほ）跡地としてほしいとの請願です。

【提出者】広瀬勉さん（貝沢区長）、藤原輝夫さん（若畑区長）、髙橋定雄さん（川舟区長）

【紹介議員】深澤重勝、児玉正彦

【継続の理由】会期中に結論にいたらなかったため。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。

【表3】

現在の指定管理者の状況（21～23年度）

施設名	指定管理者
① 峠山パークランド	㈱西和賀産業公社
② ほっとゆだ	
③ 砂ゆっこ	
④ 穴ゆっこ	
⑤ ゆう林館	
⑥ 憩の家	
⑦ レストハウスゆのさわ	
⑧ 焼地台公園	
⑨ 屋内温泉プール	
⑩ 沢内バーデン	㈱エステック
⑪ 志賀来ドーム	
⑫ 丑の湯	協同組合湯本商店会
⑬ ふれあいゆう星館	町直営
⑭ 長峰公園	
⑮ 真昼温泉	
⑯ 悠々館	町社会福祉協議会

次回の指定管理者の状況（平成24年4月～平成27年3月まで）

施設名	指定管理者
① 峠山パークランド	㈱西和賀産業公社
② ほっとゆだ	
③ 砂ゆっこ	
④ 穴ゆっこ	
⑤ 憩の家	
⑥ ゆう林館	
⑦ レストハウスゆのさわ	
⑧ 焼地台公園	
⑨ 屋内温泉プール	西和賀町水泳協会
⑩ 沢内バーデン	㈱エステック
⑪ 志賀来ドーム	
⑫ 丑の湯	協同組合湯本商店会
⑬ ふれあいゆう星館	㈲ハシバ
⑭ 長峰公園	
⑮ 真昼温泉	㈲米沢工務所
⑯ 悠々館	町社会福祉協議会

※⑯の悠々館のみ非公募施設です。また色つきの施設は、新しい指定管理者による管理運営がなされます。

【表2】料金制の施設の入浴室使用料

区分		小中学生	一般	老人
一般入浴	1回券	100円～300円	250円～450円	150円～350円
	11回券	1000円～3000円	2500円～4500円	1500円～3500円
	1か月券	1500円～3500円	3000円～5000円	1700円～3700円
貸し切り		1600円～2500円		
休憩室		200円～300円	350円～500円	
砂湯		1000円～2000円		
		回数券6回（5000～1万円）		

区分		小中学生	一般	老人
一般入浴	1回券	120円～300円	300円～450円	180円～350円
	11回券	1200円～3000円	3000円～4500円	1800円～3500円
	1か月券	変更無し	3600円～5000円	2200円～3700円
貸し切り		変更無し		
休憩室		無料に		
砂湯		変更無し		

※老人とは、町内に住所を有する65歳以上の方です。
※就学前の幼児は無料です。

議員の質問できる時間は30分です。今定例会では６人が質問しました。

一般質問

髙橋　昭貴 議員

質問 せんだん保育所の道は改良できないか

答弁 事故防止のためにも整備は検討したい

質問 **せんだん保育所の県道から保育所までの道が開所以来改良されていない。車両のすれ違いだけでなく、除雪車両の通行も厳しい状況だが、改良できないか。**

答弁 県道から保育所までは約60ｍで、土地の所有者は国土交通省だが、管理は町で行っている。

路肩部分も含めた敷地の幅員は５ｍで、車道は約３ｍしかなく、冬場の見通しが悪いことも認識している。絶対的な交通量が少ないこともあり今まで改良していない。

しかし、小さい子どもを乗せた車が毎日走る道なので、事故防止のためにも整備を検討したい。

質問 **現在太田地区で圃場整備計画がある。圃場整備にあわせて、ぶなの園の裏側の治山ダムの排水路整備や地区内の町道の改良ができないか。**

答弁 圃場整備事業は、北上農村整備センターと協議しながら進める予定だ。

町道の整備要望箇所は、平兵エ線、中堰線、水無線のことだと思うが、道路沿いに民家が点在していること、改良を必要とする区間が圃場整備計画区域外であるため、３路線の全線改良計画は今のところない。

治山ダムの排水路は曲がりくねっているほか、水路断面も小さく、大雨時にあふれて付近の住宅の床下まで浸水することがあったが、多額の事業費が必要で町単独での事業実施は難しかった。

これらの水路は圃場整備事業地区内なので、整備できるかどうか関係機関や地区のみなさんと協議して進めたい。

県道からせんだん保育所までは、車両のすれ違いも厳しく、さらに冬期間は見通しも悪くなります。

質問 **町内の堆肥センターで作られる肥料の原料となる牛ふんなどは、酪農家や畜産農家のみなさんがセンターまで搬入している。搬入する際に、１ｔあたり６５０円の利用料が発生し、それを農家が負担している状況だが、これを無料化できないか。**

答弁 21年４月から湯田堆肥センターと沢内堆肥センターを一元化し、山の幸で運用している。現在の牛ふんなどの受け入れ日量は、８～９ｔである。１ｔのたい肥をつくるために約１・８ｔの副資材が必要になる。このため、湯田堆肥センターの処理能力にほぼ近い、日量約22ｔのふん尿を処理している。

仮に、無料化すれば、現在利用していない農家からの搬入も考えられるため、処理能力を超えてしまう。堆肥センターの処理能力からしても無料化は難しい。

ただし、負担軽減のために酪農家や畜産農家の負担にならないように、根本的な畜産対策の応援のあり方を検討したい。

ここが聞きたい

中村キミイ 議員

質問 東側幹線は来年度中に長瀬野十字路まで整備されるか

答弁 あと3年はかかる

質問 東側幹線は、来年度中には長瀬野十字路まで整備される予定だったが現状はどうか。

答弁 事業計画では24年度に完成することになっていた。現在の残工事は約750mあり、橋のかけ替えが必要なため完成にはあと3年はかかる。

質問 自然環境調査には147万円かかっているが、どのような調査か。

答弁 春、夏、秋に数回ずつ専門家が数人来て植物、昆虫類調査を行う。

植物調査は、季節の植物の種類の確認、記録を行う。昆虫類調査は、現地を移動しながら網で生息している昆虫を採取し確認する。希少種が確認された場合は生息地点の特定、個体数の確認などを行う。

費用には、人件費、交通費なども含まれ、最終的に報告書にまとめる。

質問 なぜこの自然環境調査が必要なのか。

答弁 県や町で組織する北上地区希少野生動植物連絡協議会があり、事業を行う際は、事前調査が必要だ。

質問 東側幹線のルートはどうか。

答弁 長瀬野十字路から北側は今のところ白紙状態だが、後期総合計画に盛り込みたい。

24年度中には、この交差点・長瀬野十字路まで改良される予定だったが…（写真交差点の上方向が弁天方面、右方向が長瀬野方面、左方面が両沢方向です）

質問 主要地方道花巻大曲線の現状はどうなっているか。

答弁 下前秋田間の笹峠工区は、平成20年にいわてレッドデータブックに掲載されている希少種が数種類確認されたことから工事は中断している。岩手県では、事業が3年間実施されない場合は公共事業評価委員会にはかられることになっており、その結果、事業の再開は早くても平成29年度以降と考えられる。

花巻沢内工区は、平成25年度に小倉山トンネルの出口に橋をかける工事をし、その後トンネルの掘削工事を行う計画である。

質問 沢内庁舎前の駐車場は危険だが、どう考えているか。

答弁 町は通路と考えており、除雪優先のため車止めを設置していない。ロープを張ったり、看板を設置するなどして注意喚起し、事故を未然に防ぐよう適正な管理を心がけたい。

いわてレッドデータブックとは

県内に生息・生育する希少な野生生物の現状を明らかにし、野生生物保護の基礎資料としているものです。

昨年の雪氷まつりは、銀河高原まつりと合同で開催しました。
地域や地元企業とも連携しての開催で、お互いの長所を生かしました。

質問

祭りの意義を町長はどう考えているか

刈田　敏　議員

答弁

西和賀のファンになる動機づけである

質問　**祭りと観光の関わりをどのように考えているか。**

答弁　祭りは西和賀町に注目していただくそのきっかけをつくる意味がある。

訪問して満足いただき西和賀ファンになってもらう動機づけとして重要な取り組みと考えている。自然と調和した観光地づくりが大切である事を念頭に、どこにもない観光地、ほかとの違いのある地域づくり、祭りとして進めていきたい。

質問　**今後、錦秋湖湖水まつり、雪氷まつり、雪あかりはどのように進めていくのか。**

答弁　このような祭りは、今回設定いただいた観光キャッチフレーズ『どこにも無い四季と湯の里』の根幹をなすものと考えている、実行委員会の取り組みにとどまらず、町全体が関わり、観光客に対して親切で適切な対応ができる気持ちを高めるような状況を作りだしていきたい。

湖水まつりは、発展的に解散した実行委員会が新たに再設立され錦秋湖マラソンの前日行事として花火の打ち上げを中心とした事業を展開していただけると期待している。

雪氷まつりは、西和賀銀河高原まつりと合体した形で23年に行なった。その時の来客数は１４０００人を超える状況だった。今後も物産直売や企画、アイディアを見直しながら支援していきたい。

雪あかりは沢内地区も含めた全町での開催が6年目を迎え、23年は５００００人の観光客が訪れている、地域にあまり負担をかけずに、自分達が楽しめるような形で継続していきたい。

質問　**町民の健康づくりに取り組む医療体制をどのように進めているか。**

答弁　町は健康教育や健康相談、検診を含めて、保健事業と医療を連携させて健康づくりに努めている。

住民の意識改革も必要なので、特にも町立病院である沢内病院の医師が主体になり、地域に入って健康教室を行う予定をしていたが医師不足のため実現できていない。

行政組織を挙げて取り組みたい。

質問　**新病院建設に向け、あるいは健康づくりに対して組織の見直しが必要でないか。**

答弁　現状では、病院、医療保健室、保健福祉課とあるが、その役割分担と横の連携がとれていない。いわゆる縦割りによる弊害で、情報交換や指導体系がうまく連携していない認識はある。

24年度は大きな取り組み課題として住民の健康づくりのために機能する組織をつくりたいと思っている。

質問

もしTPPに参加した場合の町の農業振興策は

湯澤　正　議員

㈱西和賀産業公社では、一本漬けオーナー制度を今冬から始めました。それを支えるのが左草畑作生産組合のみなさん。一本漬けは西和賀の農産物の代表格であり文化です。

質問　「貿易立国」といわれると大多数の国民が反論できないことは想像に難くなく、今の国の動きからすると恐らく日本はＴＰＰ（環太平洋経済連携協定）への参加は濃厚だ。

　参加すれば西和賀の米の販売額は８億３０００万円からわずか４０００万円に落ち込むと町では試算している。そういう事態にも太刀打ちできる西和賀農業の展望を示すことが求められているのではないか。

答弁　米を守らなければ我々の生活が成り立たないという前提に立ち、政府に対して関税の特例措置を求めるとともに、この問題を農業の転換の大きなきっかけとすべきだ。

　地域の特徴ある産物、具体的には山菜などに特化していくことがこの地域の生き残る道であると思うし、そういう方向に進んでいるつもりだ。

質問　小中学校の学力テストにおいて全国トップクラスの秋田県に学ぶと、学力向上には少人数学級ときめ細かな教育を行う教職員の指導体制があるといわれるが、これはやりようによっては西和賀でも十分可能ではないか。

答弁　本町は生徒の減少で少人数学級はそのとおりだ。ただ、そのことにもよるのだが教師の配置が十分に確保されない点で苦慮している。

質問　西和賀高校存続には北上を含めて50％以上の地元出身者で満たす必要があり、危機意識を持って取り組んでいるとのことだが、それに加えて「西和賀の実態や課題を訴え、西和賀には君の力が必要だ」という面からのアプローチと教育行政トップである教育長の熱意が最も重要ではないのか。

答弁　西高では学力向上で目を見張る実績を上げてきているし、あいさつや礼儀などでの評価も上がっている。生徒一人一人の希望をつかみ、きめ細かな指導をしてもらうようにお願いしているし町としても頑張りたい。

質問　小学校の空き校舎の利活用は、どうなっているか。町民や団体の要望に応えているか。

答弁　旧川尻小は川尻二区公民館として地区と協議中である。教員住宅は一般住宅として使えるよう事務を進めている。旧越中畑小はＮＰＯ法人から計画書が提出され施設整備を進める。公共施設や行政需要など町としての全体の活用方針は示しているが、これ以外は地区の要望などに応えるまでにいたっていない。

　費用負担や安全管理などで即対応できない部分があるが、基本は有効活用だと考えている。

質問

西和賀消防署の新築場所はどうなっているか

児玉　正彦　議員

老朽化が進む西和賀消防署。水槽付消防ポンプ車１台、救急車１台、指令車１台を配備しています。火災は町内全域、救急は湯之沢以北をカバーします。

答弁　医師や消防署などとも協議していきたい

質問　臨時財政対策債（臨財債）を借り入れする際の考え方は。

答弁　地方財政に必要な経費として考えている。

質問　借入先はどこで、その利率、何年返済か。

答弁　借入額は平成13年度から今年の借り入れ予定額を含めた11年間で34億７３６０万円だ。借入先は国が16億６３４０万円、花巻農協10億１１８０万円、北上信用金庫４億１１４０万円などだ。

利率は国が０・７～１・７％、農協０・８～２・４％、信金１～２・３％である。

臨財債は、基本的には23年返済だが、農協からの借り入れの一部は10年や15年返済がある。

質問　借り入れた額は、普通交付税として１００％戻されるのか。

答弁　その通りだが、臨財債は、国で各自治体の発行可能額を示し、この発行可能額に対して一定の数値を掛けて毎年度交付税に戻される。

質問　合併してから６年目を迎えたが、合併してから15年後には特例措置が無くなる。合併当初に策定した計画どおりに推移しているか。

答弁　現時点で、合併時の計画額を上回る額が交付されている。平成23年度の交付税は、22年度国勢調査の人口減が反映されたことによる減額があった。今後は、合併時の計画値を下回ることは無い。

質問　西和賀消防署の建設では、平成20年に西和賀消防署建設検討委員会から答申されたが、その後、建設場所などを検討しているか。

答弁　答申では、旧沢内第一小の県道向かいを候補地としていた。医師や消防署とも方向づけを協議したい。

質問　真昼山地東縁（とうえん）活断層による地震発生の頻度が高まったと報道されたが、防災体制の見直しは。

答弁　東日本大震災発生直後は公的支援が行き届かない状況だった。数日間は自らの力、近隣や地域の共助で対応することが求められる。地域自主防災組織の育成を通じて取り組む必要がある。

【そのほかの質問】

・西和賀町総合計画の前期基本計画の進み具合は

・行政改革審議会の取り組み状況は

・遺跡遺物のデーターベース化は

臨時財政対策債とは

本来は交付税として市町村に交付されるべき財源を国が確保できないため、不足した財源は借金をして振り替えるものです。

質問

集中改革プランの進み具合はどうか

淀川 豊 議員

答弁

削減効果は額にして7億3000万円だ

質問 町長の任期が中間を過ぎたことを踏まえ、この2年間の反省とこれからの2年間の展望をお伺いする。

答弁 5つの重要項目はそれなりに着手してきた。柱の一つのまちづくり委員会の設置は、今後着手したい。今後の2年間は可能な限り数値目標を作り達成度を示したい。

質問 細井町政の4年間で何を達成して任期のゴールを迎えたいと考えているか。

答弁 基本は総合計画に沿うことだ。その中でも特に強調したいのが、この西和賀で将来において誇りを持って住めるまちづくりだし、重要なことは医療の確保と教育の提供だ。

質問 町長の思いを町民のみなさんや職員に伝える努力をしているか。それは伝わっていると感じているか。

答弁 現時点では反省する点が多い。コミュニケーション不足が原因だし、伝達方法にも工夫が必要だとも感じている。今後の2年間はコミュニケーションツールの効果的な活用、地域行事への参加で意見交換していきたい。

質問 集中改革プランの状況はどうか。

答弁 平成21年度までの経費削減の効果額は7億3000万円、達成率120・3%で県内市町村平均値とほぼ同じだ。職員数は当初計画より13人削減している。各実施項目は、目標達成が24項目、一定の成果が得られたのが25項目、あまり成果が得られていないのが9項目、未着手が6項目だ。

質問 職員の意識改革は進んできているか。

答弁 着実に進んでいると思っているが、目標レベルには達していない。人事評価方法の仕組みを確立し、意識改革の動機づけとしたい。

質問 誘致企業などの取り組みの状況は。

答弁 広域的な取り組みの中で情報収集をしている。湯田高原カントリー倶楽部の事業再開と養豚業者との誘致協議は継続して行っている。

質問 嘱託職員を現在17人雇用しているが、この現状認識は。

答弁 正職員で対応できない部分を補完する期待を込めて雇用している。

経費節減などの財政効果の計画と実績（平成18年度～平成21年度）

項目		内容	削減の効果額 計画（A）	実績（B）	差（B－A）
歳入	税の徴収対策	徴収率を向上させることによる増収効果額	1億1700万円	6200万円	△5500万円
歳出	人件費の削減	退職職員の不補充、職員給与の削減などによる人件費削減効果額	1億6700万円	3億3300万円	1億6600万円
歳出	経常経費の見直し	光熱水費、燃料費など日常業務の経費の削減効果額	1億8600万円	1億5800万円	△2800万円
歳出	補助金等の見直し	各種団体への補助などの見直しによる削減効果額	1億3700万円	6100万円	△7600万円
歳出	その他	公債費（借金）の繰上償還を行ったことによる効果額	——	1億1600万円	1億1600万円
歳出の削減効果額の合計			4億9000万円	6億6800万円	1億7800万円
財政効果合計額			6億700万円	7億3000万円	1億2300万円

平成22年度集中改革プランの実績表。差の△は計画どおり実績を上げられなかったことを表しています。

集中改革プランとは

行政改革の指針となる「行政改革大綱」の具体的な取り組みを定めたものです。

嘱託職員とは

専門的な業務を行う非常勤の職員です。任用期間は1年以内ですが、7回まで更新できます。

町政調査会（湯澤正会長）では、住民の意見要望を町政に反映させるため「住民の声を聴く会」を行っています。

状況みながら検討!?
もっと前向き回答ほしかった

にしわが建設会へお答えします

（12ページはにしわが建設会への町の回答です）

町内の建設関連の事業者で構成される「にしわが建設会」との「住民の声を聴く会」を昨年8月3日に銀河ホールで行いました。

意見や要望などをまとめた報告書は町長に提出していましたが、先ごろ回答が寄せられましたので、その内容を一部抜粋してお知らせします。

◆共通事項

要望 町が発注する工事は、町内事業者を優先に。

回答 従来通り町営建設工事入札参加資格者要綱などに基づき工事を発注します。

要望 町外業者に発注する際でも、下請工事や資材調達は町内業者に行わせる旨の条件付けを。

回答 町内業者が対応可能な下請けは、優先するよう要請します。

要望 町では事業者の規模や実績に応じ事業者をA級、B級などにランク付けしている。このランクで入札に参加できない工事があるので、分離発注などでの対応を。

回答 従来通り町営建設工事入札参加資格者要綱などに基づき工事を発注します。分離発注は、工事内容により判断します。

要望 品質確保の観点から、一定の金額以下の事業者には発注しない最低制限価格制度の導入を。

回答 今のところ、品質確保が心配される低価格受注はありませんが、状況を見て検討します。

◆土木事業者の声

要望 町で発注する工事の発注時期の平均化を。

回答 留意はしていますのでご理解願います。

要望 町内施設の小規模な補修、修繕工事は、仕事が入れ変わる4～5月に発注を。

回答 努力します。

要望 今後の町土木関連予算の現状維持確保を。

回答 町の財政状況に配慮しながら引き続き取り組みます。

要望 観光地としてだけでなく、住民の利便性や景観上から、川尻・湯本地区の電線の埋設化の検討を。

回答 ケーブル埋設は住民の利便性向上や観光地の景観形成に寄与するものと考えますが、多額の費用がかかることから埋設の考えはありません。

要望 町内建設業者が農業など新規事業に参入しているので積極的な支援を。

回答 農業参入や観光農園などの取り組みが町内の活性化につながるため、補助事業の活用などで支援を行っています。

◆建築事業者の声

要望 町営住宅など既設公共施設の耐震診断などの推進を。

回答 耐震診断の必要な施設は、順次取り組む方向で進めます。

◆水道・管事業者の声

要望 簡易水道管の耐震用への更新事業の促進を。

回答 今後、国の補助事業を活用しながら、計画的に老朽管を耐震用に更新します。

要望 一般住宅の水道使用量が増しており、現行の13㎜から20㎜にする口径拡大事業の推進を。

回答 最近の工事では、本管からの取り出しは20㎜を下限にしています。個人宅でも申し出があれば対応します。

◆電気事業者の声

要望 電気工事だけの入札が少なく、地元事業者が受注できるような配慮を。

回答 工事発注の資格区分、限度額などは町営建設工事入札参加資格者要綱などに基づき対応していきます。

施工後（予想図）

施工前

もし、実現すれば…

湯本温泉の電線類が埋設化されれば、こんなにすっきりします。

（施工後の写真は、画像処理したものです）

町政調査会　住民の声を聴く会

実現に向けて ひとこと言わせて!!

昨年11月24日は耳取地区・草井沢地区・鷲之巣地区を対象に、耳取地区公民館で行い27人が参加しました。

また、11月28日は新町地区を対象に新町地区公民館で行い13人が参加しました。

それぞれの地区の要望などは次のとおりですが、町政調査会ではこれらを基に町長に報告書を提出し回答を求めることにしています。

27人が参加した耳取・草井沢・鷲之巣地区での様子

一部は、冬期間の要望であることから、報告書の完成を待たずに町長に口頭で報告しました。

口頭ですでに報告してある要望

【耳取・草井沢・鷲之巣】

①町道と県道ゆだ錦秋湖停車場線のT字路は見通しが悪い上に、陥没し水が溜まっている。冬場は凍り危険なので改良してほしい。

②鷲之巣地内の秋田自動車道高架下に雪庇（せっぴ）ができて危険である。

③鷲之巣地内の秋田自動車道高架下には光ファイバーや共聴テレビ線が張られており、雪が落ちると切断する心配がある。

④秋田自動車道で行っている除雪作業時に雪が落下してくるので危険である。

⑤鷲之巣地区～甲子（かっち）地区間の道路沿いの木が倒れそうなので、事前に伐採してほしい。

【新町】

①T字路の除雪作業では、後続の除雪車が雪を交差部に置いていき、通行できない場合があるので、対応してほしい。

②消防屯所前（県道沿いも含めて）は、消防車がすぐ出動できるように除雪してほしい。

そのほかの要望

【耳取・草井沢・鷲之巣】

①岩滑沢橋の架け替えをお願いしたい。

②鷲之巣甲子線と県道ゆだ錦秋湖停車場線のT字路部分にカーブミラーの設置をお願いしたい。

③鷲之巣橋付近と三工場橋にガードレールを設置してほしい。

④地区内の町道の幅員が狭く大型バスの通行に支障があるので改善してほしい。

⑤みどり橋から、バイブルキャンプ場に間違って進入する車両が多いので、案内看板を設置してほしい。

⑥峠山サービスエリアにETCの出入口を設置してほしい。

⑦オアシス館に車両で直接出入りできるようにしてほしい。

⑧本屋敷から夏油に通じる県道の工事を再開し、観光道路として活用すべきだ。

⑨道の駅から峠山に橋をかけてほしい。

⑩オアシス館内の階段が急で利用しにくいので、バリアフリー化してほしい。

⑪新沢内病院建設が大野地区で進むようお願いしたい。

⑫秋田自動車道の建設時に水路が整備されたが、末端まで整備されない。水があふれる箇所があるので改善してほしい。

【新町】

①新町地区公民館も湯本地区公民館と同様に管理人を配置してほしい。

②31行政区に約50の公民館の分館があるが、財政的にも1行政区に1分館とするべきではないか。

③行政区の人口がアンバランスである。旧町村の行政区数も湯田18区、沢内11区であり、再編の必要がある。

④災害時に備え避難所などの表示をしてほしい。

⑤学校跡地の利用を促進してほしい。

⑥農業振興プランは、町の実情にそったものにしてほしい。

⑦牛乳公社への貸付金は、財政状況を精査し議決すべきだった。

⑧消防屯所は、県道などの出動しやすい場所に建設してほしい。

13人が参加した新町地区での様子

2地区から要望を聴きました（13ページは2地区からの声を掲載しています）

大子町で議員大いに学ぶ
空き校舎の利活用

視察研修とは、先進的な取り組みをしている団体の取り組み事例を学び、制度や考え方を本町の行政運営に生かすために行われます。とりわけ、住民の代表である議員が率先して視察し、今後の行政運営に生かす意味で重要な事であるといわれています。

今回は西和賀町が抱える産業振興策の解決策のひとつといえるたい肥の利活用、空き校舎の利活用というテーマにそって行い議員11人（事務局職員1人含む）が参加しました。

石倉を再利用したちょっ蔵広場

町政調査会では、昨年12月1日～2日にかけて県外視察研修を行いました。向かった先は、栃木県高根沢町と茨城県大子町です。

研修先の概要

●12月1日　高根沢町

エコハウスたかねざわ

『環境学習の拠点』として、NPO法人ふるさと未来Souが、指定管理者として運営・管理を行っています。

エコハウスたかねざわでは太陽光や風力の自然エネルギーなどの電力供給のほか、間伐杉集成材や廃ガラスの利用など、いたるところに環境に配慮した部材を積極的に使用しています。また、リサイクルショップの運営、エコに関する教室の開催など「環境に配慮した暮らしを取り戻す」活動を中心に事業を進めています。

ちょっ蔵ひろば

高根沢町はかつて大穀倉地帯でした。その輸送の拠点となったのがJR東北本線宝積寺（ほうしゃくじ）駅です。

駅の東には、米麦貯蓄の役目を終えた3棟の石倉がありましたが、世界的建築家隈研吾（くまけんご）氏監修により大谷石を利用した近代的なちょっ蔵ホール、ちょっ蔵館、商工会館のあるちょっ蔵広場として生まれ変わりました。

土づくりセンター

家畜ふん尿と生ごみ、水分調整剤のもみ殻を混ぜ合わせた有機質肥料を製造しています。

消費者の求める、人にやさしく、安全でおいしい農産物を生産するため有機農業の確立と循環型農業を促進する位置づけの施設です。

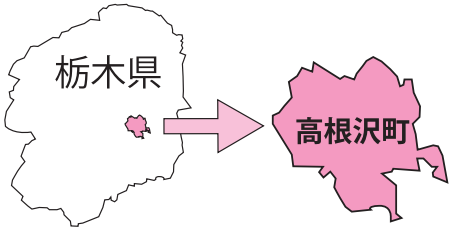
土づくりセンターで説明を受ける議員団

●12月2日　大子町

大子おやき学校

明治7年に創設された由緒ある槙野地（まきのうち）小学校は児童の減少により閉校を余儀なくされました。

平成8年に閉校となった同校の木造校舎をそのまま活用し、今では地区の伝統食である「おやき」の製造販売、実演コーナー



栃木県高根沢町

高根沢町は、栃木県のほぼ中央に、東京からおよそ100Kmと首都圏に位置しています。

人口は3万286人、世帯数は1万1283世帯です。

気候は温暖で、総面積は70.9㎢と小さな町ですがこのうち約6割が農地でほぼ水田が占めます。

八溝山系の丘陵が南北に連なり、町の地域振興の「元気あっぷむら」を中心に、有機肥料の活用などによる循環型社会の構築、日本のシリコンバレーと称される「情報の森とちぎ」が立地され、美しいのどかな田園風景に最先端企業群が生まれ始めています。

町政調査会とは

町政全般の調査、研究などを行い、町政の運営に寄与し、発展を図ることを目的に議員全員で構成している組織です。

今後の西和賀にどう生かす!! 高根沢町
たい肥の利活用そして

などを行っています。
年間３万人以上の利用者があり地区の活性化に大きく貢献しています。

ノスタルジックな風情を醸し出すおやき学校

古きを生かす 廃校利用のお手本

総務教民常任委員長
中　村　キミイ

おやき学校のある地域は、古くから「おやき」を食べる習慣があり、槙野地小学校の廃校と同時に校舎の有効活用を行うため、町の新たな特産品として「おやき」の研究を始めたそうです。

まずは大子町特産品開発研究会を結成し、これまでの「おやき」を基に新しく創作的な「おやき」の研究を始め、おやき研究グループを結成し本格的におやきづくりを始めました。

おやきの具材は、カボチャなど地元産を有効に活用しています。

施設ではおやきづくり体験ができるのですが、特にも体験料収入が大きく占めるそうです。地区の主婦15人ほども運営に携わり、地域の活性化に大きな役割を果たしていると感じました。

あるもの探しで町の活性化を

産業建設常任委員長
柿　澤　繁　俊

高根沢町では「無いものねだりから、あるもの探しへ」を合言葉に町の活性化に取り組んでいました。

高橋高根沢町長のお話では、「土づくりセンターをまちづくりの要」と位置づけ、同センターは完熟堆肥「たんたんくん」を農家に提供する。農家はそれを活用し安全で安心な農作物を栽培し消費者に提供し、消費者は生ゴミを堆肥の原料として提供する環境・循環型農業に取り組んでいました。

リサイクルを意識した取り組みに感心しました。そして、環境対策と農業を組み合わせ、こだわりのある農産物を生産し、農業の活性化に町を挙げて取り組む姿勢を、私たちの町も見習うべきだと感じました。

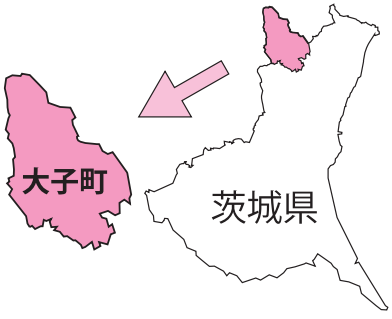
茨城県大子町（だいご）

大子町は茨城県の最北西端に位置し、福島県や栃木県などと接しています。

人口は２万278人、世帯数は7723世帯です。総面積は325㎢と県全体の約20分の１を占める広大な町です。

このうち約８割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地で、日本三名瀑のひとつに数えられる袋田（ふくろだ）の滝（高さ 120 m・幅 73 m）があります。

読書にも力を入れており日本初となる「読書のまち」宣言を行い、読書を通じて心の豊さを育てるまちづくりを推進しています。



研修費の一部は補助金で

この視察研修にかかる費用は、同行した職員１人分を除くと約72万円でした。このうち、補助対象の経費として認められる約46万円（新幹線代、貸し切りバス代、宿泊費など）は、町から町政調査会に交付された補助金から支出し、残りを参加者で負担（交流会経費ほか）しました。

一人当たりの実質負担額は約２万４０００円でした。

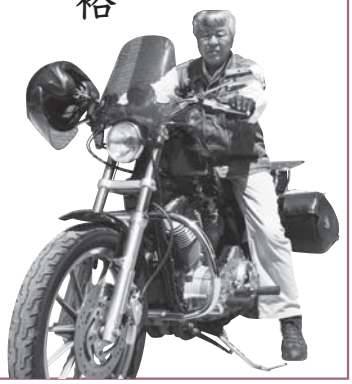
エプロン姿でおやきづくりを体験!?

ひゃくじゅついっせいにしかず　第三回

百術不如一誠

TPP問題を考える

議長　佐々木　正　裕



町民のみなさん新年あけましておめでとうございます。

今年は龍年でありますので、できれば行政施策そのものが、天にも登る勢いで進んでくれればと望むものであります。

西和賀町議会としましては、議会基本条例を基に町民に開かれた議会を目指し、告知端末による議会の生放送や住民の声を聴く会を通じて意見集約をしていきます。

みなさんのご要望に応えうる議会として邁進する覚悟です。今後共議会に対するご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて今回はTPP（環太平洋経済連携協定）問題です。なぜなら、今年の農政は関税撤廃を原則とする、TPP交渉参加が最大の焦点だと思うからです。

昨年の11月16日第55回町村議会議長全国大会に参加しました。その大会で特別決議でTPP交渉参加反対の決議を行いました。大会当日は、岩手県選出の衆参国会議員8人と朝食をとりながら意見交換を行いました。その席上で、菊池長右ェ門衆議院議員（民主党・衆議院比例東北ブロック）よりTPP参加絶対反対の意見が出されました。地方を疲弊させるTPP参加は絶対許すべきでないとの事でした。

地方に普通に暮らし懸命に生きる人々の汗が報われ、大都市や巨大企業や輸出産業ばかりが富むのでは無く、本当の国民の利益であるかが問われている。このままTPPが締結されると農山漁村は崩壊するおそれが高く、今政府が行うべきことは、足腰の強い農林水産業を構築し、農山漁村を再生させることであると言うのです。

私もこの意見に大賛成ですが、町民のみなさんはどのように考えますか。

※「百術不如一誠」は、議長の所感などを毎号掲載しています。

議会行動

平成23年9月　定例会以降の議会公式行動

9月
27日　青森県外ケ浜町議会視察対応　議長、事務局
30日　町長へ要望書提出「湯田庁舎町長室」　町政調査会会長、事務局
10月
2日　秋の交通安全功労者表彰式「北上市」　議長
いわて・あきた県境国取り合戦「町内」　議長
4日　県南議長会議・藤沢町送別会「横手市」　議長、副議長、局長
5日　町有林、秀衡街道研修会「町内」　議員全員、事務局
14日　第3回委員長研修会「盛岡市」　議員4人、局長
17日　県町村議長会臨時総会ほか「雫石町」　議長、局長
20日　第29回西和賀農業まつり「町内」　議長
22日　松田文男氏の旭日単光章受章を祝う会「北上市」　議長
23日　町村議会広報研修会「東京都」　議員2人
24日　北上・和賀地区植樹祭「町内」　議員9人
25日　県議長会臨時理事会「盛岡市」　議長
11月
1日　河川パトロール及び清掃活動「北上市」　議長
2日　町村議会新議員研修会「盛岡市」　議員2人、局長
4日　軽米町議会視察対応　議長、議運委員長、局長
9日　ほのぼの学園閉講式「町内」　議長
11日　県南議長会視察研修「栃木県」　議長
14日～15日　第3回政務調査会「東京都」　議長、副議長、局長
15日　岩手県選出国会議員との懇談会「東京都」　議長、副議長、局長
16日　町村議会議長全国大会「東京都」　議長、副議長、局長
自由民主党市町村重点要望調査「町内」　総務委員長
オーストリア森林利用専門家等と交流会「町内」　産建副委員長
17日～18日　財政白書作り講習会「議員会議室」　議員9人、事務局
2018日　西和賀交通安全緑十字会総会「町内」　議長
一関市・藤沢町合併記念式典「一関市」　議長
11月
21日　花巻大曲線期成同盟会研修会「町内」　議長、副議長、産建委員長
23日　優良経営者・従業員表彰式、新規学卒者激励会「町内」　議長
24日　町村議会議員研修会「盛岡市」　議員3人、局長
交通安全の集い2011「北上市」　議長
住民の声を聴く会（耳取・草井沢・鷲之巣）「町内」　議員10人、事務局
26日～27日　いのちの灯の集い「町内」　議長
消防団3の1屯所落成式・祝賀会「町内」　議長
28日　住民の声を聴く会（新町）「町内」　議員9人、局長
29日　町村議会広報担当者研修会「花巻市」　広報編集委員、事務局
12月
1日～30日　西和賀町議会議員研修会「栃木県・茨城県」　議員11人、局長
4日～2日　長瀬野和夷会第40回移転記念祭「町内」　議長
7日　西和賀町消防関係者懇親会「町内」　議長
納税貯蓄組合長・会計等合同研修会「町内」　議員4人
10日　西和賀町PTA連合会研究大会「町内」　議長、議員6人

※議会内部の会議は省略しています。
また、行事名も一部省略しています。

このように使いました

議長交際費をお知らせします

（平成23年10月～12月までの内訳）

お祝い	5件	2万7000円
会費	2件	9500円
お悔み（花輪なども含みます）	0件	—

平成 23 年度秋の叙勲

地方自治の進展に尽力された2人に名誉

旭日双光章

髙橋　重一（しげかず）さん

（湯之沢・72歳）

髙橋重一さんは、湯田町、西和賀町の議会議員として地方自治の進展に尽力した功績が認められ、旭日双光章を受賞しました。

髙橋さんは、昭和46年５月に湯田町議会議員に当選して以来、平成19年４月まで８期32年間にわたり議員として活躍しました。議員在任中は、議会運営委員長や産業建設常任委員長を歴任するなど議会の中で果たしてきた功績も多大です。

このほか、統計調査員として国や町の経済発展、政策立案のための基礎となる各種統計調査にも長年従事しています。

髙橋さんは32年間の議員生活を振り返り、「地区の重鎮の方々から話があり、一週間悩んだ末に立候補しました。32歳の時です。議員になるとは考えてもいませんでしたが、人の役にたちたいという気持ちはあり引き受けました。議会では、総論賛成各論反対と、自分の考えと町民の思いが合致しない歯がゆさ、どうしようもない葛藤もありましたが、議員を辞める時は、自分の仕事はやり遂げたという思いがありました」と話し、続けて「地区や応援してくださったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです」と今回の受賞の喜びを話していました。

【主な経歴】

湯田町議会議員　昭和46年5月～平成17年10月まで
西和賀町議会議員　平成17年11月～19年4月まで
湯田町森林組合理事（常務理事）　昭和57年4月～平成18年12月まで
西和賀町森林組合筆頭理事　平成19年1月～現在
西和賀町（湯田町）統計調査員　昭和36年1月～現在
西和賀愛児会監事　昭和46年4月～現在

故・髙橋昭公（しょうこう）さんに旭日単光章

平成23年７月７日にお亡くなりになった髙橋昭公さん（川舟）に対し、生前の地方自治に対する功績が認められ旭日単光章が授与されました。

髙橋さんは昭和58年５月に沢内村議会議員に初当選して以来、平成15年４月まで通算４期16年間議員として活躍し、この間産業建設常任委員長や議会運営委員長などを歴任されました。ご冥福をお祈りします。

岩手県町村議会議長会

佐々木議長が副会長に

新役員による就任のあいさつの様子（佐々木議長は左から5番目　写真提供：岩手県町村議会議長会）

10月20日雫石プリンスホテルで行われた岩手県町村議会議長会臨時総会で役員改選が行われ、佐々木議長が県町村議長会副会長に選任されました。任期は２年間です。

佐々木議長は就任にあたり「会長を補佐しつつ、県議長会の活動が活発化するように努めたい」とあいさつしました。

臨時総会では、役員改選のほか藤沢町が一関市と合併（平成23年9月26日に藤沢町が一関市に編入）されたことによる規約の一部変更、補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

軽米町議長が直々に来町

議会基本条例を学びたい

真剣に話を聞き入る松浦議長（写真右）

11月9日、松浦求軽米町議長が、本町議会の議会基本条例制定までの経緯や内容を学ぶために沢内庁舎に来庁しました。

議会基本条例は、議会の最高規範として位置づけられ、今まで慣習的に行ってきたものを明文化し、議会の総意として町民のみなさんにお約束するものです。

全国で始めて北海道栗山町議会で制定され、全国的に議会基本条例制定への動きが活発化しています。

県内では岩手県議会、一関市議会、宮古市議会などですでに制定されており、県内町村では本町議会が先駆けて制定しました。

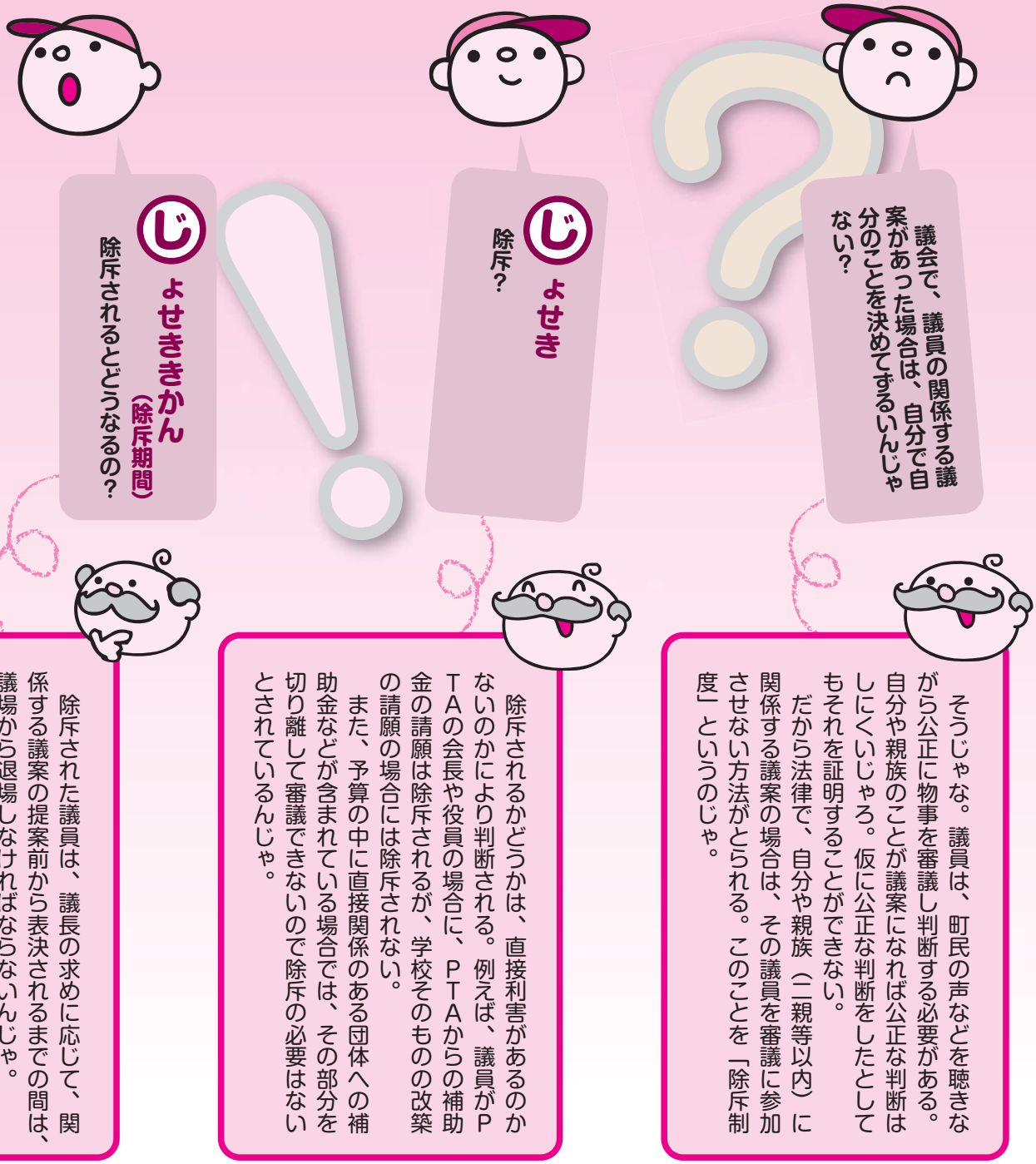
知ってるようで知らない 議会deお勉強!?❼

今回は

除斥（じょせき）とは

に関してじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。



●地方自治法第117条（原文のまま）

普通地方公共団体の議会の議長及び議員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子、孫若しくは兄弟姉妹の一身上に関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。但し、議会の同意があつたときは、会議に出席し、発言することができる。

シリーズその後を追う⑭

〔このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします〕

あの課題はどうなった？

空き校舎の利活用

経緯

町は、子どもたちの健やかな成長とより良い充実した教育を行うことから、昨年4月にそれまで町内に7校あった小学校を2校に統合しました。

7校は全て廃校し、新設された2校は既存の校舎を使用して開校しました（湯本小校舎は湯田小学校、猿橋小校舎は沢内小学校に）。

適正配置にあたり町が行ったアンケートや懇談会では様々な意見が出されました。教育的な効果を期待し統合に賛成する意見、あるいは現状維持を望む意見など様々な意見があったのは記憶に新しいところです。

議会では

「小学校の適正配置では、町がもっと将来的な青写真を町民のみなさんに提示するべき」、「空き校舎の利活用を促進するべき」、「積極的な情報開示を」などと一般質問で町の姿勢のあり方も含めて取り上げてきました。

また、各小学校の保護者代表の連名による「小学校の適正配置を早期に実現してほしい」とする内容の請願書も議会で採択済です（平成21年6月定例会）。

結果

越中畑小は福祉施設に

越中畑小は、NPO法人新田郷コミュニティー雪つばきの里（早川久衛理事長・中村）に無償で貸し付けました。→関連5P

川尻小は二区公民館に

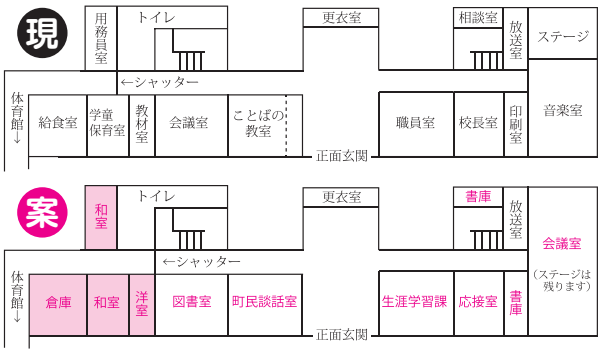
川尻小の一部は、川尻二区公民館として利用する方向で検討されています。

川尻二区公民館はアスベスト（石綿）の検出、建物自体の強度にも問題があり解体されています。

現在は、旧湯田森林組合事務所を仮公民館として使用していますが、老朽化も激しく、地区では再三にわたり町に対し移転要望書を提出していました。

教育委員会では地区の役員や住民のみなさんへの説明会もすでに終了し、今年の4月以降に改修工事に着手する予定です。

川尻小1階の活用案



①現時点での活用案です。今後の協議によっては変更される場合があります。
②2～3階も改装予定です。
③色付きの部屋が公民館分です。また、色付き文字の部屋が変更箇所です。

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.25

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.11

湯田クールス

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

西和賀町は雪合戦のメッカとして県内外に知られています。今回優勝した湯田クールスは、この大会のために集められたメンバーで湯田小学校５～６年生が主体です。1月22日徳島県三好市「いやしの温泉郷グランド」での第11回全国小学生雪合戦大会にも出場しました。

優勝したことは小学校時代の良き思い出として心の中にきざまれることでしょう。おめでとうございます。

主将
柳沢晃太朗（こうたろう）くん
（湯田小6年・湯本）

今日はいつもどおりの力を出し切ることができました。

今日、優勝できたのは、みんなが落ち着いて力をあわせて試合ができたからだと思います。チームワークをよくするため、作戦などもみんなで相談しながら決めました。

全国大会でも、それぞれのポジションでの役割分担をしっかり守り、協力し合いながら優勝をねらいます。

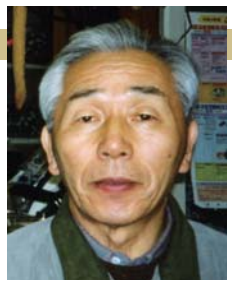
（インタビューは町長杯の時のもの）

監督
高橋隆幸さん
（川尻二区）

私自身が特に何をしたというわけではありません。今日の優勝は、練習の成果もでたと思いますし、子どもたちの力です。大変良かったと思います。

まなが～く「生涯現役」です (11)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます



泉沢泉寿会（いずみざわせんじゅかい） 会長
平澤安保（やすお）さん
（74歳・泉沢）

泉寿会は73人の会員で活動しています。会員の範囲は水無野（みずなしの）（沢内小学校付近）から和賀（和賀橋手前）までです。

会では、年間を通して会員の融和を図るため様々な活動を行っています。

例えば、花見や日帰り旅行、ふれあい行事などのほかにも、社会奉仕活動のひとつとして泉沢墓地の草取り、区内県道沿いの空き缶やごみ拾いなどを行っています。また、友愛活動として、寝たきり会員への激励訪問をしています。

特にも目立つような行事もできませんが自分たちのできる範囲で、少しでも社会に役立てればと思っています。

新規会員が少ないなどの問題も抱えていますが、まずはお互いに新規参加を呼びかけあい、できる範囲で無理をせず楽しく活動をしています。

毎年恒例の日帰り旅行。昨年は７月に網張温泉で楽しいひとときを過ごしました。

暫時休憩（ざんじきゅうけい）

新年明けましておめでとうございます。

昨年の自然の猛威をも忘れさせてくれるような穏やかな元日を迎え、今年は良い一年でと願うばかりです。

連日雪と格闘しているとつい気持ちが滅入ってしまいます。大自然に立ち向かって生きているんだと考えれば張り合いも出てきますし、雪が消えれば、またすばらしい自然の恵みをもたらしてくれます。

今年最初に手にしたのは「幸福王国ブータンの智恵」という本でした。幸福を考え直す時期かなと真面目に思います、そのためにも健康でありたいですね。

（編集委員　刈田　敏）

【議会だよりは私たちが編集しています】
編集長　佐々木正裕
編集委員　髙橋　昭貴
〃　中村キミイ
〃　刈田　敏
〃　淀川　豊

発行日／平成24年1月25日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市

発行人／岩手県・西和賀町議会議長　佐々木正裕
〒029-4602 岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL0197(85)3416 FAX0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK